



No.62

2026.8.26

レイカディア大学 サポートの会広報誌

シニアの学び舎

レイカディア大学だより 草津キャンパス

シニアが新しい教養と技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援しています



楽しもう！笑顔つながる 大学祭

2026年7月24日～25日 於：レイカディア大学草津キャンパス



2026年 ニュースポーツ大会

取材

5月24日、恒例のニュースポーツ大会が行われました。種目は「ボッチャ」です。交流部会長から「けがなく楽しんでください」との開会宣言があり、準備運動で身体をほぐしてから、3か所の会場に分かれて対戦が始まりました。

46期、47期それぞれ総当たり戦です。今年はお揃いのTシャツやエプロンを着たクラスが例年以上に目立ちました。試合が始まると、そこかしこで歓声が上がリ、皆さん、楽しんでおられました。優勝は46期がびわこ環境、47期が園芸Bでした。



皆さん、けがなく楽しんでください

まずは身体をほぐして～



どっちが近い？



緊張するわ～



46期の部 **優勝**
びわこ環境学科
2年連続です

47期の部 **優勝**
園芸学科B
練習頑張りました

結果発表！

交流部会長はインタビューで、想定以上の盛り上がりで、半年前から準備してきた甲斐がありましたと述べられていました。

取材：北川、竹脇



学科紹介

47期健康づくり学科

寄稿

メンバーは男性5名女性18名の23名です。「健康づくり」と言っても動機はそれぞれ。健康に不安を抱えて何とかしたいと申し込んだ人から、今まで以上に健康になりたいとパワーあふれる人まで様々です。クラスは最初から和気あいあい。何事にも積極的に活動ができました。

ニュースポーツ大会(ボッチャ大会)“ピンクの絆”ミラクルショットの連続でAクラス3位を獲得



縁

食の健康 調理実習



姿勢を正して



ヨガ実習



風を切るウォーキング



「高齢期の健康づくり」をテーマに授業は、体力測定、骨粗しょう症測定などで体を知り、ウォーキング・調理実習・レクリエーションで健康寿命を伸ばします。いろんな角度から座学と実習を組み合わせたカリキュラムが組まれており、みんななどの授業にも興味津々。体力測定では「今日はできなかった」とへこんだり「今日は平均より上」と喜んだり楽しく健康づくりを行っています。

47期健康づくり学科 クラス運営委員会

初懇親会

すぐに打ち解け会話が弾む。仕上げはビンゴで、手作りのプレゼントはいつも楽しみ。



2025/12/06 13:13

クラブ紹介

ドローンクラブ

寄稿

「ドローンを飛ばそう、楽しもう！」
基礎講座のある金曜日は、朝から体育室がにぎやかです。たくさんの方がドローンを飛ばしています。わずか数十グラムの手のひらに乗る小さなドローンは、安価で操縦も簡単。ほとんどの人が初めてですが、簡単に操縦できるので誰でもすぐに楽しめます。機体は小さくとも多くがカメラ付きで空撮もでき、少しばかり鳥になった気分になれます。空中回転も簡単にできます。手作りの回転ポールなどを持ち込んで技を磨いたり、「ひこにゃん」などの旗をつけて飛ばしたり（右写真）、皆さん思い思いに楽しんでます。本クラブは2023年にできた比較的新しいクラブですが、ドローンへの関心が高まっているせいか、今年度は大変たくさんの入部者を迎えました。女性の部員も多くいます。お互いに教え合いながら、談笑しながら楽しく練習しています。



練習風景(ドローン空撮より)



ひこにゃん、飛びます、飛びます



愛機自慢

部員の中には国家資格を持っていて屋外で本格的なドローンを飛ばすことのできる人もいますので、ドローンクラブとしてレイカディア大学関係の空撮を行うこともあります。例えばこれまでに、レイカディア大学のある建物の空撮や、レイカディアの日のびわこ地球市民の森でのボランティア活動なども撮影しており、多くの方にその映像を楽しんでもらっています。ドローンクラブのホームページで一端をごらんいただけます。（右の二次元コードより）

ドローンクラブ代表 外村 佳伸(46期びわこ環境学科)



クラブ紹介

グラウンドゴルフクラブ

寄稿

グラウンドゴルフは「歩く・考える・笑う」がそろった、シニア世代にぴったりのスポーツです。専用クラブ1本とボールがあれば始められ、難しい技術もありません。初心者でもすぐに楽しめるのが魅力で、実際に部員の多くが未経験からのスタートです。

プレーは4ゲームで合計32ホールを回ります。自然の中を5千歩ほど歩きますので、無理なく健康づくりにもなります。

コースをどう攻めるかを考える楽しさや、見事ホールインワンが決まった時の歓声は格別。初心者でも上位入賞のチャンスがあるのも面白いところです。



決めたバーディ!



矢橋帰帆島でのコンペの様子

ホールインワンなるか?

ナイスショット!



後半も頑張ろう

現在、クラブには46期生19名と47期生20名の計39名が在籍。基礎講座終了後の練習(瀬田南大萱霊園内グラウンドゴルフコースにて)や矢橋帰帆島公園での月例コンペで、和気あいあいとプレーを楽しんでいます。世代を超えた交流もこのクラブの大きな魅力です。

グラウンドゴルフクラブ部長 中山 守(47期園芸学科A)

～伝統芸能 琵琶の歴史と悠久の調べ～

4月24日、サポートの会主催で、「卒業生が贈る基礎講座」が開催されました。この講座はシニアにとって役に立ちそうな情報やレイカディア大学にまつわるテーマなど、在学生に親しんでもらえるような内容を事業企画部会で企画し運営しているものです。今年はレイカディア大学卒業生(31期地域文化学科卒)で筑前琵琶の師範である明智旭心氏を講師にお招きして、琵琶の歴史についての講義とともに、明智氏の社中の皆さん(総勢10名)による琵琶演奏と語り、詩吟や詩舞などの伝統芸能を鑑賞する講座を開催しました。

プログラムはどれも素晴らしい内容でしたが、中でも20代半ばである竹本旭曜さんの堂々とした琵琶演奏と語りは、後継者問題を抱える伝統芸能の世界において希望の光ではないかと感じられました。また、「経営の神様・松下幸之助」という詩吟では、松下幸之助氏の業績を紹介するスライドと共に分かりやすい言葉で吟じられ、詩吟の奥深さを感じました。その他、詩舞の華麗な舞や琵琶奏者6名による琵琶吟「近江八景」など、日ごろ耳目に触れることの少ない伝統芸能の数々を堪能するひとときとなったと思います。在学生の皆さん、いかがでしたか。

事業企画部会



明智旭心さん



竹本旭曜さん



和歌吟詠



詩舞「遊芳野」



琵琶演奏と語り



琵琶吟「近江八景」



講義を終えて

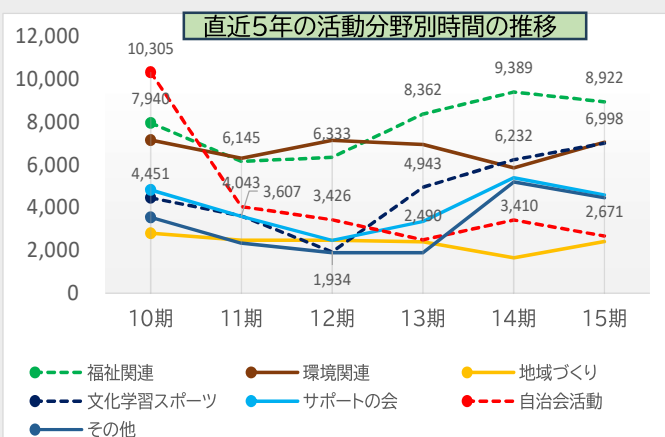
第15期サポートの会 地域貢献活動アンケート調査結果(まとめ)

今期サポートの会(15期)は、レイ大43期～45期の卒業生を対象に、地域貢献活動のアンケート調査を実施しました。今回で11回目となりますが、この5年間の中では最も多い360名を対象に実施し、92%の332名から回答を得ました。

その結果、対象者の88%が何らかの地域貢献活動に取り組んでおり、コロナ禍を契機に落ち込んでいた活動者割合もコロナ禍前の水準に回復し、年間の活動時間も回復基調にあります。特に今回の調査では、年間の活動時間数についてコロナ禍前までは全体の25%を占めていた自治会活動が大きく減少し、スポーツ・観光・子育て支援などの活動にシフトしている傾向が見られ、地域貢献活動の多様化が顕著に表れています。また、レイカディア大学の学び・体験がどの様に地域貢献活動に生かされたのかの調査では、例年通り8割近くの卒業生が「大学入学を契機に地域貢献活動を始めた」「大学入学を契機に活動が活発化した」と回答しており、大学での学びと体験が地域貢献活動の実践に大きく寄与していることが今回の結果として表れています。

詳細はサポートの会ホームページに掲載しておりますので、右二次元コードからぜひご覧ください。

地域活動部会アンケート委員会



レイ大での学びとボランティア活動との関係

活動区分の内容	14期		15期	
	人数	構成比	人数	構成比
大学での学びを機に活動を始めた	173	54.1%	158	47.6%
入学後、活動内容・回数が増加した	80	25.0%	96	28.9%
入学後も活動内容・回数は同程度	29	9.1%	32	9.6%
今は体調等で回数が減った	5	1.6%	3	0.9%
今は諸般の事情で活動していない	9	2.8%	10	3.0%
特には実施していない	24	7.5%	33	9.9%
計	320	100.0%	332	100.0%

編集後記:

大学祭は各学科、各クラブなどの意気込みが感じられるよい祭典となりました。お孫さんたちと一緒に見学に訪れたご家族もあり、よい思い出になったことと思います。本号が15期の最終刊となり、来期のメンバーに引き継いでいきますが、今後もレイカディア大学の魅力を発信し続けてくれるものと思います。(H.K.)

発行:滋賀県レイカディア大学 草津キャンパス サポートの会

編集:草津キャンパス サポートの会 広報情報部会

〒525-0072 滋賀県草津市笠山 7丁目 8-138

県立長寿社会福祉センター内

TEL: 077-567-3901 FAX: 077-567-3906

<https://lacakusatsu.com/1-supportai/index.html>